

「生活・消費動向について」

平成24年2月21日

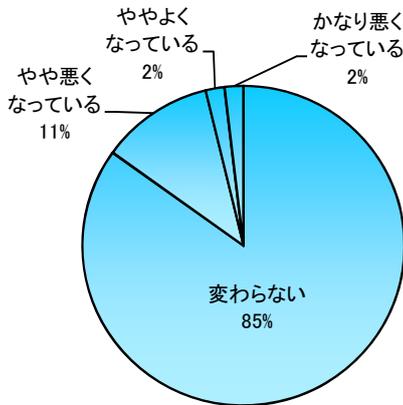
収入は減少、支出は増加傾向

調査期間：2月9日(木)～14日(火)

回答数：53名

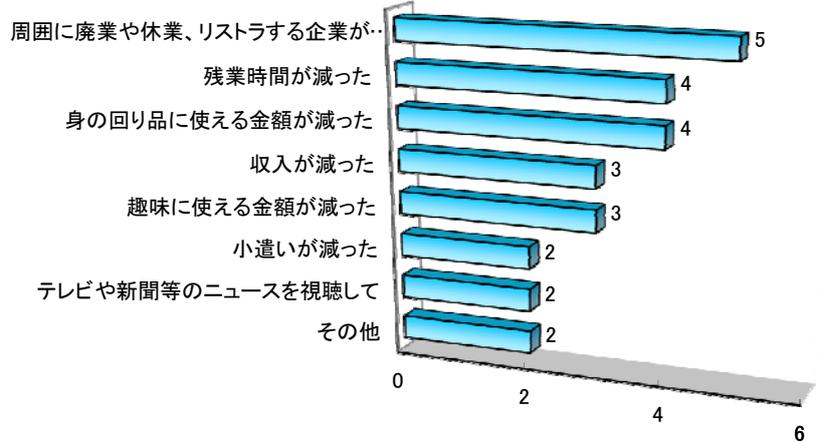
回答率：88.3%

Q1 現在の暮らし向きは昨年の10～12月期と比べてどのように感じますか？(単一回答)



85%(45名)の方が「変わらない」と回答。「悪くなっている」と13%(7名)の方が回答しているものの、大きな変化は感じられない結果となった。

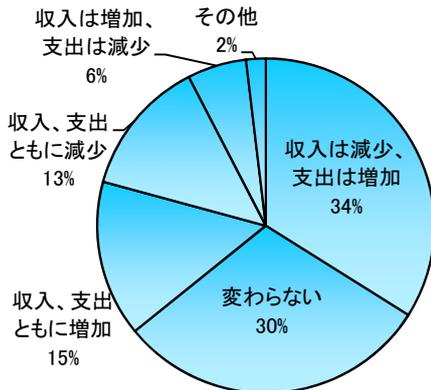
Q2 Q1で「悪くなっている」と回答された方にお聞きします。どのようなときにそう感じますか？(複数回答可)



有効回答者数 7名

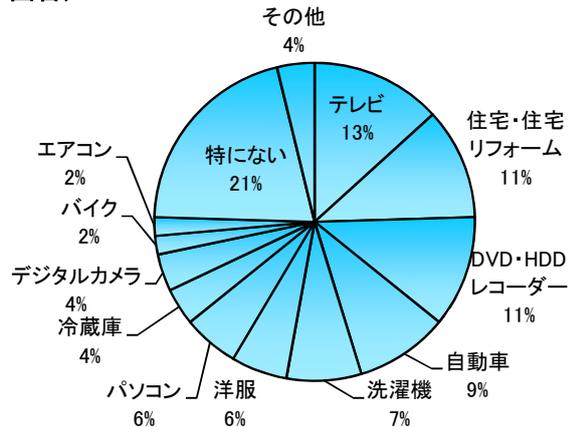
廃業や休業、残業時間が減ったなど企業の経営状態が悪くなることから暮らし向きの悪化を実感しているようである。

Q3 1年前と比べて、あなた又は家族の収支はどのように変わりましたか？(単一回答)



34%(18名)の方が「収入は減少、支出は増加」と答え、最多回答であった。一方で「収入は増加、支出は減少」と答えた方は6%(3名)に留まった。「変わらない」と30%(16名)の方が答えるも、全体的に収入は減少、支出は増加の動きであった。

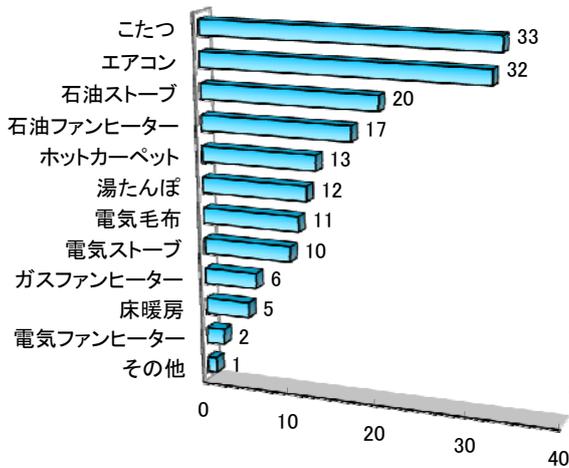
Q4 昨年一年間で最も高かった買い物はなんですか？(単一回答)



20%(11名)の方が「特にない」と答え、最多回答。その他は「海外旅行」、「学費」であった。

Q5

自宅での寒さ対策として使用している暖房器具は何ですか？(複数回答可)



30名以上の方が「こたつ」、「エアコン」を回答。電気を使ったものより石油使用の暖房器具を回答された方が多かった。

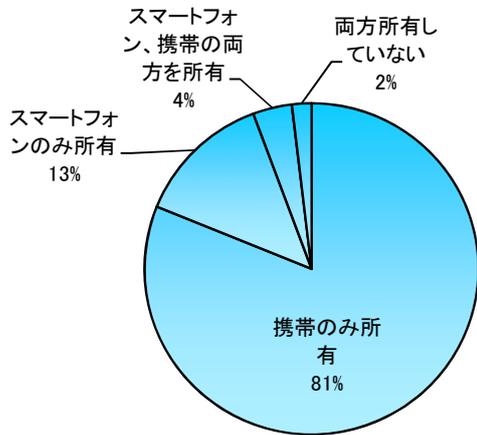
Q6

本年は厳冬に加え、関西電力より節電の依頼も来ています。その対策として今冬から新たに活用している暖房器具、または防寒対策として行なっていることはありますか？(自由記述)

厚着をすると答えた方が3名、その他に「ペアガラス」、「雨戸の利用」、「湯たんぽ」、「石油ストーブ」、「家族で一部屋にまとまる」、「発熱性のある衣類の使用」、「体の温まる食事」等であった。

Q7

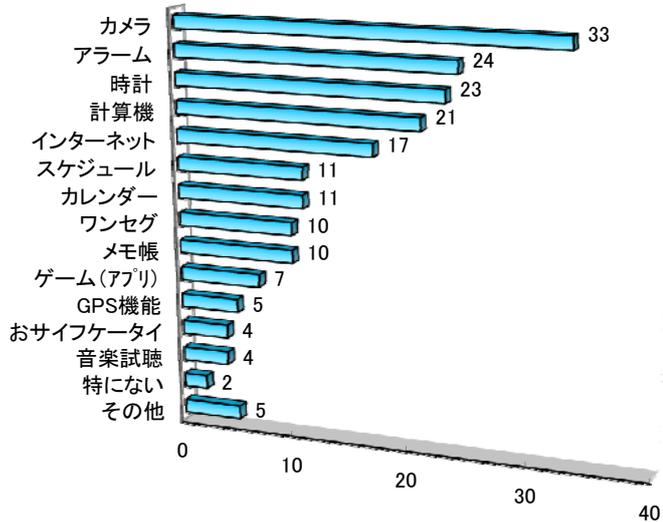
現在スマートフォンを所有していますか？(単一回答)



81%(43名)の方が携帯、13%(7名)の方がスマートフォンを所有している。そんな中、4%(2名)の方はスマートフォン、携帯の両方を所有。昨年と比較しても5名の増加であった。

Q8

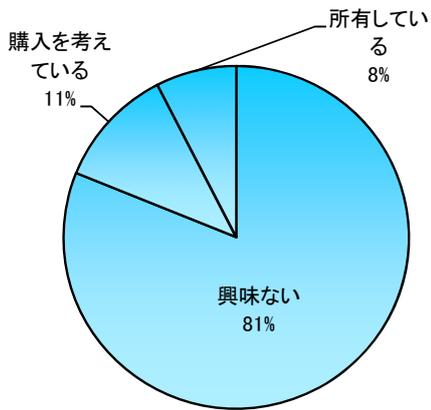
スマートフォン、携帯の機能で便利と感じるものは？(複数回答可)



33名の方が「カメラ」と答え、最多回答であった。画質も鮮明で、デジタルカメラの代用として使われている方も多し。「アラーム」、「時計」、「計算機」といった日常生活で主に使われる機能が上位を占めた。

Q9

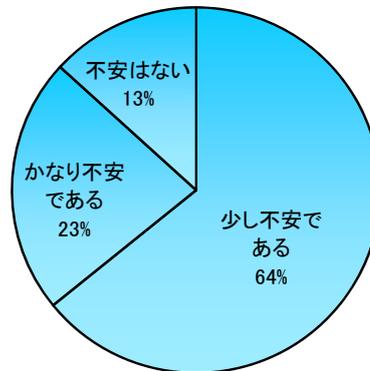
iPad等のタブレット端末を所有していますか？(単一回答)



「所有している」と答えた方は8%(4名)であり、「購入を考えている」と回答した方を合わせても僅か19%(10名)であった。関心を持たれている方は未だ少ない。

Q10

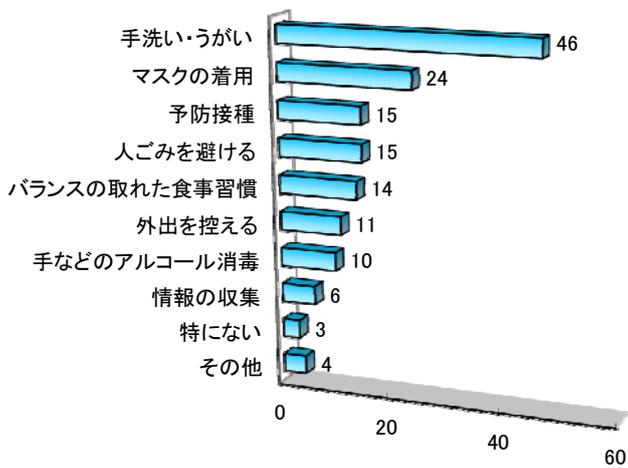
現在流行中のインフルエンザについてどのように感じていますか？(単一回答)



87%(46名)の方が「不安である」と回答。広い範囲で流行していることもあり多くの方が不安視されているようである。

Q11

インフルエンザの予防対策としてどのようなことを行なっていますか？(複数回答可)



46名の方が「手洗い・うがい」と答え、最多回答であった。食事の面で気をつけている方は14名であった。「人ごみを避ける」、「外出を控える」など、徹底した対策を行なっている方もいた。

Q12

冬の節電対策として行なっていることはありますか？(自由記述)

「エアコンの温度調節」と6名の方が答え最多であった。その他に、「こまめに消灯」、「厚着をする」、「料金の安い深夜に利用」、「早く寝る」、「LED照明の利用」、「湯たんぽ」、「運動により体を温める」等であった。

夏の節電対策と比較すると電気の消費量を抑える対策に加え、使用しない方法を独自で行なっているようである。